

第113回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 34 問

34 日齢1の新生児。在胎40週0日、出生体重2,594gで、正常分娩で出生した。Apgarスコアは8点(1分)、9点(5分)。出生12時間後から嘔吐が出現し、出生から24時間経っても胎便の排泄がなく、胆汁性嘔吐を認めたためNICUに搬入された。体重2,400g。体温37.6℃。心拍数40/分、整。血圧70/40mmHg。呼吸数52/分。SpO<sub>2</sub>99%(room air)。このときの腹部所見(別冊No. 4A)及び胸腹部エックス線写真(臥位)(別冊No. 4B)を別に示す。血液所見：Hb19.4g/dL、白血球11,600、血小板35万。血液生化学検査：尿素窒素17mg/dL、クレアチニン1.3mg/dL、総ビリルビン9.4mg/dL。経鼻胃管を挿入するとともに、輸液を開始した。

次に行うべきなのはどれか。

- a 光線療法
- b 酸素投与
- c 抗菌薬投与
- d 注腸造影検査
- e 心エコー検査

別 冊  
No. 4 A、B

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

設問が不適切で正解が得られないため。